

ダイナミックサイバーレジリエンシー トランスフォーメーション

サイバーレジリエンシー・クイックアセスメント

連絡先

サイバーレジリエンシー・クイックアセスメントの詳細については、以下までお問い合わせください。

日本タタ・コンサルタンシー・サービス株式会社

E-mail: JP.CandSI@tcs.com

タタコンサルタンシーサービス (TCS) について

タタコンサルタンシーサービス (TCS) は、世界中の大手企業における変革の道のりを55年以上にわたり支援している、ITサービス、コンサルティングおよびビジネスソリューション企業です。コンサルティングを基盤とし、コグニティブ技術を活用した、ビジネス、テクノロジー、エンジニアリングのサービスやソリューションを総合的に展開しています。これらをTCS独自のソフトウェア開発基準である「ロケーションインディペンデント・アジャイル・デリバリーモデル (Location Independent Agile™ delivery model)」を通じ、地理的な制約にとらわれることなく提供しています。

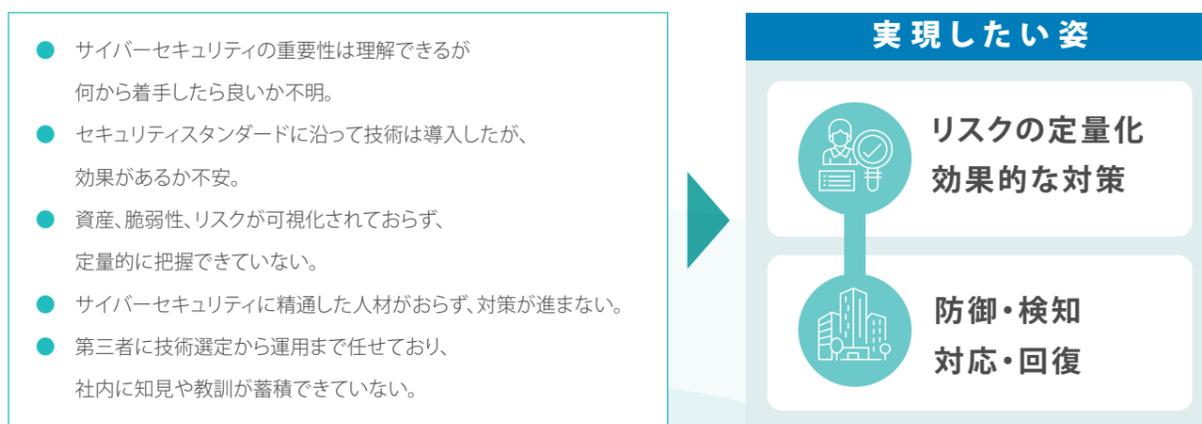
TCSは、世界最大規模の多国籍複合企業体であるタタ・グループの一員で、最高水準のトレーニングを受けた61万4,000人を超える人材を擁し、世界55カ国で事業を展開しています。2023年3月31日を末日とする会計年度の売上高は279億米ドルで、インドナショナル証券取引所とボンベイ証券取引所にも上場しています。また、気候変動に対する積極的な取り組みや表彰を受けた地域活動を世界中で展開しており、MSCIグローバル・サステナビリティ・インデックスやFTS4Eグッド・エマージング・インデックスをはじめ、主要なサステナビリティ指数の構成銘柄に名を連ねています。TCSの詳細は、www.tcs.com をご覧ください。



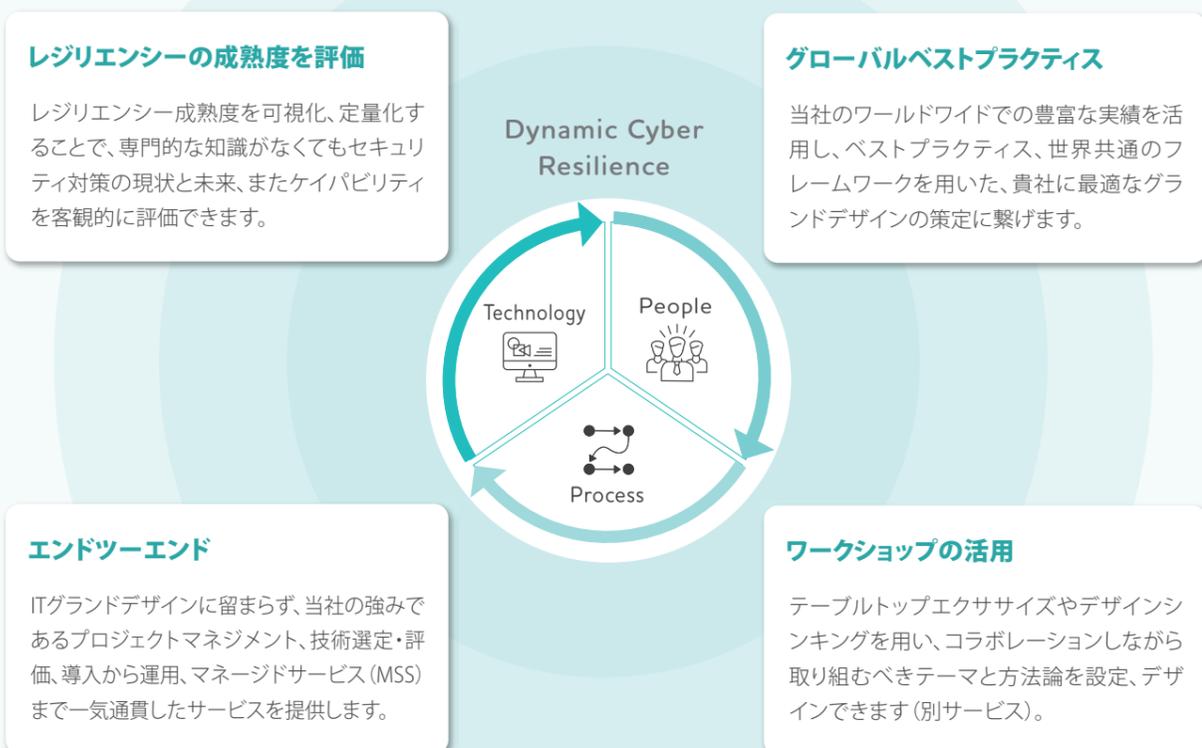
侵害発生後の対策が不足しています

近年「サイバーセキュリティ対策」の重要性が叫ばれていますが、残念ながら、侵害発生後の対策や人・組織・戦略の重要性は認識されていません。また、ほとんどの企業において、迅速な回復、再発防止によってビジネスのダウンタイムを最小限に抑えるための恒久的な対策が実施されていません。このような現状を打開し、同時多発的なサイバー脅威に立ち向かうためには、戦略的かつダイナミックなサイバーレジリエンス（対応力+回復力）の実装が急務です。

サイバーセキュリティ対策における典型的な課題



サービスの特徴



日本タタ・コンサルタンシー・サービスのアプローチ

お客様にとって重要な資産、知識になることがゴールであり、グローバルの知見に基づいたリスクの可視化だけでなく、現状評価と再設計、そして診断・分析結果の経営活動へのフィードバックも徹底的に行います。また、セキュリティ戦略・ロードマップ策定、クラウドサイバーリスク評価、SoC・CSIRT成熟度診断、攻撃シミュレーション、侵害調査などをあわせて実施することで、より実践的に、人、プロセス、技術のレジリエンスを短期間で強化、拡張できます。

ダイナミックサイバーレジリエンスの実装に向けた成熟度、リスクの可視化、グラウンドデザイン/ロードマップ策定



TCSの実績 クライアント：グローバル食品製造企業

エンドツーエンドのサイバーレジリエンス高度化施策の提供

- 01 サイバーレジリエンス戦略、ロードマップ策定、設計と実装。
- 02 OT 環境を含む全社横断的なリスクアセスメント、工場における詳細なリスク評価の実施。
- 03 IT/OTサイバーセキュリティレジリエンスプログラムおよびプラクティスのデザイン、開発、実装、最適化の支援。